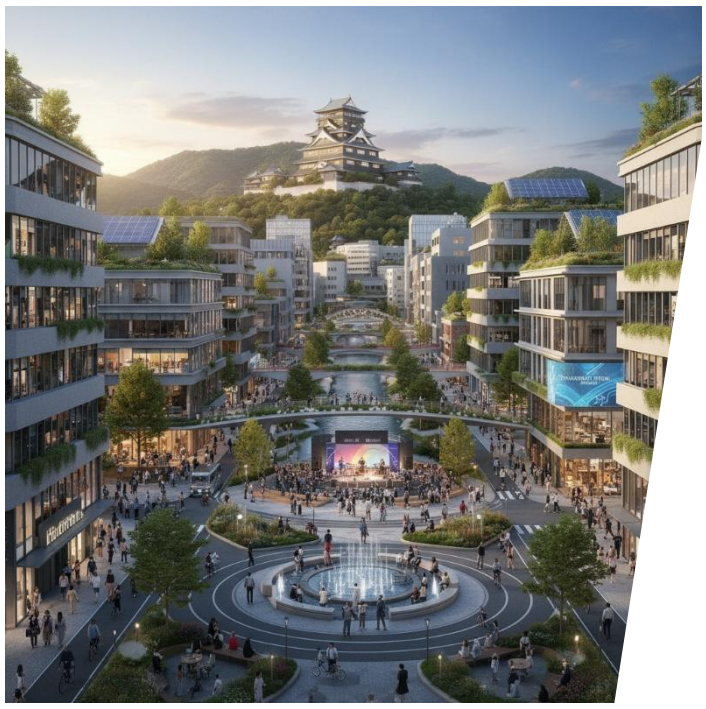
変わり続ける岐阜市の”イマ”をお届け！ !Vol.24

FUTURE NEWS

編集者
三品、大東、合木
市橋、梅田、中村

2040
JANUARY
1

THREEPERSPECTIVES



中心
市街地の
魅力
アップ

魅力的な
自然

暮らし
やすい
文化

心満たされる岐阜市へ！

「尖った岐阜」世界が注目 観光客・住民共に10年連続増

岐阜市が2025年から展開してきた「尖ったブランディング」戦略が結実し、住民満足度が向上している。地域の自然や文化を生かした体験学習プログラムが導入され、子どもたちが地元に愛着を持ちながら学べる環境が整っている。また、岐阜市は医療分野においても最先端の技術を取り入れ、遠隔医療サービスを拡充。AIを活用した診断支援やテレメディスンによるフォローアップが定着し、高齢者や地域住民の健康維持に貢献している。

市の広報課長は「ストーリー性のある一体的な情報発信に転換したことで、住民の満足度も高まった」と説明。SNSでの岐阜市関連投稿は年間500万件に上り、「岐阜市に住んでいると、自然や文化を身近に感じられてとても幸せ」といった住民の声が多く寄せられ、地域の魅力と住民の満足度が高まる中で、新たなブランディングが成功を収めている。

官民連携で中心市街地に若者の新店舗続々開業

岐阜市は、2025年からスタートした官民連携によるイベントの成功により、中心市街地に若者が続々と新店舗を開業している。この施策は、金華橋通りから柳ヶ瀬にかけて行われる毎週末のイベントを通じて、地域の賑わいを創出している。初めは30店舗からスタートした出店者数は、現在150店舗にまで拡大した。

毎週末、県内外から平均2万人が訪れるこのイベントは、若手起業家にとって重要なビジネスチャンスとなっており、新たな店舗が次々と開業している。これにより、家族連れが一日過ごせる魅力的なスポットとして定着している。市内在住の山田さん（35）は、「子どもたちがおじいちゃんおばあちゃんと一緒に楽しめる場所ができた」と語り、地域のコミュニティの再生を実感している。

若者の起業支援と地域活性化を目指す官民一体の取り組みが、岐阜市の中心市街地に新たな未来を切り拓いている。

サウナ×BBQ文化が定着 河川敷が市民の憩いの場に変身

長良川河川敷に整備されたリバーサイドパークが開設5年で年間利用者50万人を達成し、新たな岐阜文化として定着している。サウナ施設とBBQエリア、グランピングサイトを一体的に配置した画期的な取り組みで、金華山を望む絶景とともに四季を通じて楽しめる空間を実現した。パーク内のサウナ施設「長良川ロウリュウ」は連日満員状態。利用者の7割が市外からの来訪者で、経済効果は年間30億円に上る。併設するBBQエリアでは岐阜県産食材を使った地産地消メニューが人気を博している。常連利用者の鈴木さん（42）は「サウナの後のBBQ最高！子どもたちも自然の中で伸び伸び遊べるし、家族の週末の定番になった」と満足そうに語る。金華山山頂には新たに展望カフェも開設され、山と川を結ぶ一大レジャーゾーンが完成している。

最先端技術が日常生活に 溶け込んだモデル都市

2025年に全国初の完全自動運転特区に指定された岐阜市。市内全域に配備された自動運転バス・タクシーの利用者数は月間100万人を超え、高齢者の外出頻度が特区指定前の3倍に増加した。ライドシェアシステム「ギフシェア」は24時間365日運行し、郊外住宅地から中心市街地まで平均待ち時間3分での迅速な移動を実現。医療機関への通院や買い物支援など、生活に密着したサービスとして市民に浸透している。農業分野でも自動運転トラクターやドローンによる精密農業が普及し、生産効率が40%向上した。市内在住の農家・松本さん（59）は「技術の力で労働負担が軽減され、若い世代も農業に参入しやすくなった」と評価する。最先端技術が日常生活に溶け込んだモデル都市として、全国から視察が相次いでいる。

信長公の夢を現代に 岐阜城山城完全復元

織田信長・斎藤道三時代の山城を完全復元した「岐阜城山城プロジェクト」が完成から3年で累計入城者200万人を突破した。発掘調査に基づく忠実な復元と最新のVR技術を組み合わせ、戦国時代の生活を体験できる施設として国内外から注目を集めている。長良川を活用した水上交通網も整備され、川港から山城まで戦国時代さながらのルートで訪れることが可能。電動アシスト登山道や山頂カフェなど、バリアフリーにも配慮した施設設計により、幅広い年齢層の来訪を実現している。

山城ボランティアガイド　加藤さん（35）

子ども達が目を輝かせながら戦国の歴史に触れる姿を見ると、地域の誇りを次世代に継承できていると実感します。

城下町エリアでは戦国グルメや忍者体験も楽しめ、岐阜市の新たなシンボルとして定着していますね。

岐阜市が創る教育と医療の共演

自然×最先端教育で全国トップクラス

岐阜市の独自の教育システムは全国的に注目を集めており、全国から小中高等学校への入学希望者が殺到している。この取り組みの一環として「岐阜自然科学アカデミー」が金華山麓に位置し、自然環境を最大限に活用した体験型教育を特色としている。

医療分野では、「岐阜先端医療センター」が再生医療とAI診断の最前線を担う研究拠点として機能しており、地域住民に最先端の医療を提供している。また、高校生に最新医療技術を体験させることで、将来の医療人材育成にも大きく寄与している。

同校出身で岐阜大学医学部2年生の伊藤さん（19）は、「金華山での野外実習と最新の研究設備を経験できたことで、将来への視野が広がった」と振り返っている。

「最先端の教育と医療と言えば岐阜市」と話す保護者の声は、教育都市としてのブランド確立を示している。